

人 チーム 制度

マルチロールプレイヤーを目指して



(株) 日建技術コンサルタント水工技術部 T. Uさん

今回ご紹介するのは(株)日建技術コンサルタントで河川砂防関係のほか多岐に活躍するT. Uさん。2011年に8月に途中入社されて、現在、担当部長として頑張っているらしいです。

プロフィール

氏名 : T. U (44)
 所属 : 本社 水工技術部
 勤続年数 : 5年
 資格 : 技術士 (建設部門 等)
 居住地 : 大阪府
 家族構成 : 妻 (39), 娘 (0)

経歴

H2年3月	工業高校 土木科卒業
H2年4月	大手地質調査会社 入社 主として地質調査を経験
H9年4月	転勤を機に設計部所異動 主に斜面防災設計を経験
H23年8月	(株)日建技術コンサルタント 入社

これまでの経歴を簡単に教えてください。

平成2年に工業高校の土木科を卒業して大手地質調査会社に入社しました。地質調査のほか、簡単な地すべり、急傾斜地崩壊防止対策等の設計を経験し、平成9年の転勤を機に設計部所に異動して設計技術者の道へ挑戦することになりました。その後は斜面防災設計を主としつつ、関連する道路、河川、森林や農業土木関係の仕事も徐々に経験しました。平成23年には更なる経験を求めて現在の会社に転職して現在に至ります。

更なる経験を求めての転職はキャリアアップのためですか？

転職は「マルチロールプレイヤーになりたい」と思った事がきっかけです。前職の地質調査会社では入社直後から地質調査の経験を積み、地すべり対策工事の現場代理人もやったりして、地質調査を含む斜面災害(工事含む)対策のスペシャリストになる夢見ていたんです。ところが入社5年付近から身近に居た設計技術者の先輩達の活躍を見ていると「設計技術者こそがコンサルタントの王道だ」と思うようになりました。その後は熱望した設計部所への転勤を経て、斜面防災や関連する設計業務に従事してきましたのですが、今度は「自分の能力ではスペシャリストにはなれないし、斜面防災に関係する設計だけでは勝負できる器じゃない」と思い始め、いろいろな分野の設計に携わり、技術を習得できそうと感じた現在の会社への転職を決意したのです。

そう、浅はかにも「一芸を究極に極めるのは無理だが、多芸をそこそこ極めるのは可能だ」と思った訳です。多芸は無芸のことわざに真っ向勝負ですね。

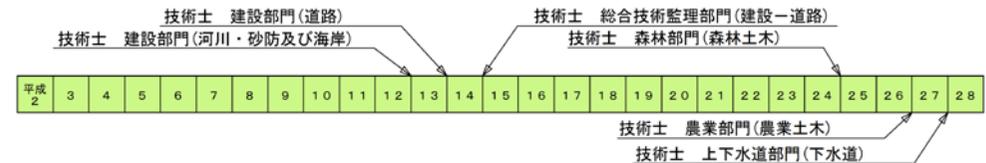
マルチロールプレイヤーとは、どのようなイメージですか？なぜそうなりたと思ったのですか？

難しいですね。人によって解釈が違うでしょうから私のイメージとってください。マルチロールプレイヤーとは、複数の役割を果たすことができる人という意味と解釈すると、多様な対象(業務)に対して役割(技術対応)を果たせる人ということになります。ですから、斜面防災の道に限定して深く極めようと夢見ていた若い頃はスペシャリストになりたかったという事になります。そしてそれは自分に無理と気づく。

あとは「スペシャリストが無理ならマルチロールプレイヤーだ」という単純な発想でなんです(笑)。

実際には目標達成のために、どのような経験を積んできたのですか？

このA4で1枚の紙面で歩んできた道を示すのは難しいですが1つの参考として資格取得の変遷があります。多様な業務に参画し、かつ主体的に仕事をするために取得した各部門の技術士です。幅を広げることで必然的に複数の部門が必要になりましたが、これが経験の概要を示していると思います。以前の会社では、アルジェリアに2カ月の長期出張も経験(写真は当時のもの)しました。現在でも広範囲な経験ができるよう心がけています。



様々な経験をしたいと望むことに関して、会社はどう考えてるのですか？

現在の会社は様々な経験を積むことに好意的です(個人の感想です)。例えば河川護岸設計から始まり、調節池や砂防堰堤、地下河川等の設計業務や解析業務、パイプラインや下水道関係業務、砂防基礎調査業務、発注者支援業務等、次々と様々な業務に挑戦させてもらえます。もちろん斜面防災関係の業務もしながら。

最後に、建コンで働く皆さんに伝えたいことはありますか？

自分の将来像を描く上で、何を極めたいか、何を身につけたいか、という事をぼんやりとでもいいから、若いうちからイメージしておくことが大事だと思います。あとは仕事をするうえで資格は武器ですので若いうちに取得することが必須です。